

救急隊と医療機関との緊密な情報共有・連携により、救急搬送される患者が速やかに適切な医療を受けられる持続可能な医療体制を構築したい

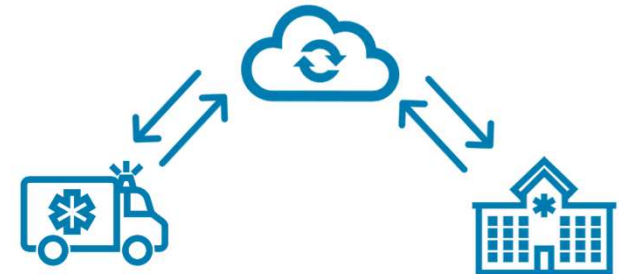
テーマ5.救急現場の限られた医療資源をより適切に

現状

- 救急ニーズは増加しているが受入に時間がかかり、たらいまわしや搬送困難も増加している
- 患者は医療の専門家ではないため、救急現場に任せるしかない
- 救急隊は医療機関の受け入れ状態、専門性や空床状況が把握しにくい
- 医療機関も受け入れが困難な状態でも要請が多くかかってくる

目指す姿

- 患者は救急搬送で速やかに適切な治療ができる施設へ受診
- 救急隊はより適切な医療機関へ搬送できるように空床情報・専門性の高い受け入れを把握
- 医療機関も適切な受け入れ要請に応じられ働き方改革に順応



解決したい課題

救急隊と医療機関とが、各医療機関の空床状況や専門性等の情報を一元的かつ適時簡便に共有※できるようにしたい。

※救急医療に対応する医療機関側の資源は限られるため、情報発信に係る負荷は出来るだけ低減したい

【関連する取組】 —

課題提示：医療法人杉村会 杉村病院